

亞くろいし 市議会だより



第16号
平成29年3月1日発行



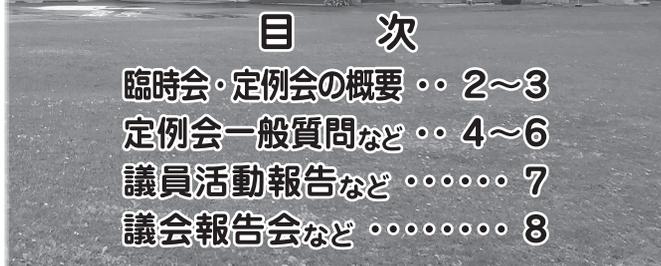
黒石中学校



六郷中学校



東英中学校



目次

- 臨時会・定例会の概要・・・2～3
- 定例会一般質問など・・・4～6
- 議員活動報告など……………7
- 議会報告会など……………8



黒石幼稚園と最後の園児たち

ありがとう私たちの学び舎

平成28年第1回臨時会の概要

平成28年第1回臨時会は11月16日に開かれ、市長提出の6議案を慎重な審議の上、いずれも原案どおり可決・同意しました。
各議案の議決結果と各会派の賛否一覧は下記をご覧ください。

第1回臨時会の議案と各会派の賛否一覧 (○は賛成、●は反対)

番 号	件 名	会 派 名					議決結果
		自民・公明 クラブ	黒石市民 クラブ	日本 共産党	高佑会	新政会	
議案第92号	黒石市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第93号	黒石市教育委員会教育長の給与等に関する条例を廃止する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第94号	黒石市教育委員会教育長の勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第95号	教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	同 意
議案第96号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	同 意
議案第97号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	同 意

平成28年第4回定例会の概要

平成28年第4回定例会は12月1日から13日までの13日間にわたって開かれ、市長提出の22議案、議員提出の4議案を、慎重な審議の上、いずれも原案どおり可決・同意しました。
各議案の議決結果と各会派の賛否一覧は次ページをご覧ください。

意見書

次の意見書を、国及び関係行政庁に提出しました。

◎ 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

地方議会の果たすべき役割がますます重要となっており、一方で、住民の関心の低さや地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっています。よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう要望するものです。

◎ 3・4・7号黒石環状線街路事業の推進強化を求める意見書

3・4・7号黒石環状線は、黒石市都市計画マスタープランにおいて重要路線に位置付けられている都市計画道路です。しかし、平成28年度における黒石環状線街路事業への交付金要望額に対する配分率は著しく低く、事業の進捗に大きな影響を与えているため、配分率の増加を求めるものです。

◎ 西十和田トンネル(仮称)の早期建設を求める意見書

国道454号は、東北縦貫自動車道弘前線と八戸線の連絡道の役割を担っているほか、国際的観光地である十和田湖・岩手県八幡平圏域への広域観光ルートとして重要な役割を担う路線ですが、豪雪地帯に位置しており、特に青森県平川市温川から秋田県小坂町滝ノ沢までの山岳区間は、毎年冬期閉鎖を余儀なくされています。よって、今後の国土の均衡ある発展のためにも西十和田トンネル(仮称)の早期建設を要望するものです。

◎ 津軽広域水道企業団との受水契約の見直しを求める意見書

津軽広域水道企業団からの受水費は、基本水量に単価を乗じた基本料金と、使用水量に単価を乗じた使用料金とで構成されていますが、近年の人口減少に伴い、各市町村とも実際の使用水量と基本水量とのかい離が生じているため、早期に是正して、適正な基本水量となるよう津軽広域水道企業団水道用水供給事業に関する協定の見直しを要望するものです。



第4回定例会の議案と各会派の賛否一覧（○は賛成、●は反対）

番 号	件 名	会 派 名	自民・公明 クラブ	黒石市民 クラブ	日本 共産党	高佑会	新政会	議決結果
議案第98号	黒石市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	○	○	原案可決
議案第99号	黒石市特別職の職員の給料等に関する条例等の一部を改正する条例制定について		○	○	○	○	○	原案可決
議案第100号	黒石市国民健康保険黒石病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	○	○	原案可決
議案第101号	黒石市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	○	○	原案可決
議案第102号	平成28年度黒石市一般会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	原案可決
議案第103号	平成28年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	原案可決
議案第104号	平成28年度黒石市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	原案可決
議案第105号	平成28年度黒石市介護保険特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	原案可決
議案第106号	平成28年度黒石市簡易水道特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	原案可決
議案第107号	平成28年度黒石市水道事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	原案可決
議案第108号	黒石市税条例等の一部を改正する条例制定について		○	○	○	○	○	原案可決
議案第109号	黒石市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	○	○	原案可決
議案第110号	黒石市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	○	○	原案可決
議案第111号	黒石市スポーツ交流センター条例制定について		○	○	○	○	○	原案可決
議案第112号	指定管理者の指定の期間の変更について		○	○	○	○	○	原案可決
議案第113号	松の湯交流館の指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	原案可決
議案第114号	青森県市町村総合事務組合規約の変更について		○	○	○	○	○	原案可決
議案第115号	固定資産評価審査委員会委員の選任について		○	○	○	○	○	同 意
議案第116号	平成28年度黒石市一般会計補正予算（第5号）		○	○	○	○	○	原案可決
議案第117号	平成28年度黒石市簡易水道特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	原案可決
議案第118号	平成28年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	原案可決
議案第119号	平成28年度黒石市水道事業会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	原案可決
議員提出 議案第3号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出について		○	○	△	○	○	原案可決
議員提出 議案第4号	3・4・7号黒石環状線街路事業の推進強化を求める意見書の提出について		○	○	○	○	○	原案可決
議員提出 議案第5号	西十和田トンネル（仮称）の早期建設を求める意見書の提出について		○	○	●	○	○	原案可決 （起立多数）
議員提出 議案第6号	津軽広域水道企業団との受水契約の見直しを求める意見書の提出について		○	○	○	○	○	原案可決



第4回定例会一般質問

一般質問は、12月8・9日の2日間行われ、9人の議員が市の諸問題についての質問をしました。



新政会
三上 廣大 議員
(二問一答方式)

問 小・中学校適正配置について、通学路の整備状況はどうなっているのか。

答 県、警察、市、教育委員会で構成する黒石市通学路安全推進会議において、必要に応じて関係者とともに現場視察を実施しています。道路標識の設置状況、見通しの悪い場所、ガードレールの破損状況、横断歩道や信号機の設置が必要な場所など通学路における危険箇所の把握に努め、必要に応じ修繕等の対応や通学路安全マップの作成・配布をしています。

問 庁舎機能分散について、教育委員会の黒石公民館移転に伴い、多目的ホールを再開できないか。
答 庁舎の耐震性が確保できないことから、短期対応策として庁舎の軽量化と円滑な避難および避難誘導を図るため、機能分散を行うこととし、教育委員会は黒石公民館に移る予定です。庁舎の耐震不足に対してリスク軽減を図るため

の緊急的な対応であり、教育委員会が移るために最小限必要な改修を行います。多目的ホールの再開についてはさらなる改修が必要となるため未定となっています。



自民・公明クラブ
今 大介 議員
(一括方式)

問 小・中学校適正配置について、スクールバス運行は決定に至ったのか。

答 六郷中学校区は、弘南バス株式会社へ委託することが決定しました。バスの乗降は弘南バスの停留所を使用することになります。また、東英中学校区は、路線バスを利用することで進んでいます。部活動後の帰宅時間に合った路線バスの運行がないことから、部活動の時間調整を学校へお願いしているほか、バス会社との協議も継続して行っています。

問 6次産業化について、販売戦略に取り組んでいくのか。
答 販路の開拓、拡大が重要となりますので、展示会や商談会に積極的に参加することはもちろんのこと、トップ

セールスや金融機関と連携した首都圏での販売事業など、売り込みに向けてあらゆる方策を模索したいと考えています。また、平成29年度には現在ある「六次産業化推進研究会」の名称を「六次産業化・地産地消推進協議会」に変え、六次産業推進戦略を策定し、構成員に商工団体や金融機関を加えることで、農工商連携・官民共同による地域ぐるみの取り組みを進めていきます。



自民・公明クラブ
大久保朝泰 議員
(二問一答方式)

問 六郷小学校給食用厨房爆発事故の現状は。また、被害者のケアは。

答 まだ事故原因解明には至っていませんが、11月30日付けで警察の保管措置が解除されました。保護者・地区へは学校だよりを通じて周知し、今後も情報が入り次第周知を図っていきます。なお、現在は、むき出しとなっていた鉄筋の切断や解体面の補修などを行っています。被害者のケアについては、定期的に遺族の自宅を訪問し、遺族の心情

に配慮するよう努めています。怪我をされた方々には、休業補償の給付や治療に係る療養補償を給付し、自己負担分については教育委員会で支払うなど、できるだけの手立てを継続しています。

問 黒石米活用検討実験事業について、現状は。

答 2年目となる今年度は、作付面積を3㌥から15㌥に拡大し、収穫量は玄米換算で467㌥となりました。平成29年度が実験事業最終年度ですが、黒石米作付協議会を設立し、30年度以降も事務局として、栽培農業者が抱える課題解決に向け、側面から支援していきます。



高佑会
高橋美紀子 議員
(二問一答方式)

問 青森県立高等学校教育改革推進計画について、当市の考え方と今後の対応は。

答 「黒石高校と黒石商業高校を統合し新設校を配置する」という県の方針に対し「将来的には再編もやむを得ない」と一定の見解を示してきました。しかし、地域におけ



問 小・中学校適正配置に



自民・公明クラブ
大溝 雅昭 議員
(二問一答方式)

る高校の配置は、高等教育のあり方の検討だけにとどまらず、地域経済等にも極めて大きい影響があることから、今後、再編計画など具体的な実施に際しては、引き続き市町村への積極的な情報提供を行うつつ、県と市町村が共通理解を深めながら進めてほしいと強く要請しています。

問 各地区協議会について、地区要望を地元で解決するための仕組みづくりに対する市の考えは。

答 平成28年度から試験的に実施しており、現在、市内の団体が市道等の舗装、改修等に要する土木資材の支給に関する制度づくりを進めています。今後も市民との協働や地区コミュニティ力による生活環境の整備により、住みよいまちづくりの推進に取り組んでいきます。

〈その他の質問〉
地方創生拠点整備交付金について。



黒石の夏を彩る人形ねぶた

問 黒石市公民館について

黒石市公民館
佐々木 隆 議員
(二括方式)

問 来年の人形ねぶたの運行台数が減るとい話が聞こえているが、対策は。

答 この減少傾向の流れは大きな問題だと認識しています。減少の原因はいろいろと考えられますが、助成金の新規枠

問 小・中学生における性的マイノリティの現状と対策は。

答 本市における児童生徒の性的マイノリティに関する相談は現在までありません。しかし、文部科学省によると全国的に相談事例が増える傾向にあるため、教育委員会としては全教職員が性的マイノリティについて共通理解するよう周知しています。

問 浅瀬石川の河川敷と中川の維持管理はどのように行っているのか。

答 河川管理は中南地域民局地域整備部で行っておりますが、浅瀬石川の河川敷の草刈りやゴミ拾いについては、浅瀬石川クリーンの会による作業のほか、市直営による河川敷の草刈りや外部委託による法面の草刈りを実施しております。中州については、中南地域民局地域整備部により雑木伐採などが実施されて

問 黒石市公民館について

黒石市公民館
佐々木 隆 議員
(二括方式)

問 小・中学校統合後の交通対策は。また、一方通行の変更はできないか。

答 県・警察・市・教育委員会が構成する「黒石市通学路安全推進会議」において、修繕や通学路安全マップの作成等の対応をしています。また、一方通行の変更については交通規制に関することですので、県や警察の意見を踏まえて市全体の問題として検討していきます。

問 災害などの緊急時に児童生徒が安全に過ごせる場所として、学校を活用できないか。

答 緊急時の対応については、児童生徒の安全を第一に考え、学校施設の活用についても検討していきます。



浅瀬石川クリーン作戦の様子

問 黒石市公民館について

黒石市公民館
佐々木 隆 議員
(二括方式)

問 市内小・中学校におけるいじめの現状は。また、未然防止の取り組みは。

答 いじめの認知件数は4月から10月末までで、小学校で61件、中学校で10件です。いじめの態様は、冷やかしかやらかい、仲間はずれや無視等であり、重大事態の報告はありません。不登校の児童生徒数は不登校傾向の児童生徒も含め小学校で8人、中学校で16人です。未然防止の取り組みについては、アンケート調査や教育相談、保護者面談などを実施し、どんな些細な兆候にも迅速に対応しています。また、インターネット上におけるトラブルを防止するため「児童生徒のインターネット使用に関する指針」のリーフレットを作成し、情報モラルに関する指導も行っています。

問 青森県立高等学校教育改革推進計画について、今後の対応は。また、市民に対して市が説明会を開催しては。

答 黒石高校、黒石商業高校



の特色がさらに高まるような工夫をしてもらえるよう、県教育委員会に働きかけていきたいと考えています。説明会については、県に確認したいと思っています。



自民・公明クラブ
中田 博文 議員
(二問一答方式)

黒石ねぶた祭りについて、減少する人形ねぶたへの対応策として、助成の拡充や、市内企業に祭りへの参加をお願いするなどの働きかけをしてはどうか。

助成の拡充等については、祭り自体のあり方も含め主催者と議論したいと考えています。市内企業への働きかけについても、主催者と対応を検討したいと考えています。

黒石環状線街路事業について、現状と今後の進め方は。

3・4・7黒石環状線は計画決定総延長7190mの都市計画道路であり、現在は柵ノ木から角田までの906区間に着手しています。しかし、国からの交付金要望額に対する配分率が低く、事

業の進捗に支障を来していません。今後は継続して要望活動等を行い、配分額の確保に努め、事業効果が早期に発揮できるように進めていきます。

来年度は保護者、学校関係者、市民の方々を対象とした講演会を開催する予定です。子供のインフルエンザ予防接種費用に対して助成を実施できないか。

開催可能と思われる施設を検討し総合的に判断した結果、今後開催状況にさまざまな変化が見られない限り、これまでと同様に津軽伝承工芸館で実施する方針としました。

今後の予防接種費用に対する助成の実施については、市の財政状況や事業実施の優先順位等もありますので、検討課題にしたいと考えています。



津軽伝承工芸館で実施された成人式

高齢者見守り宅配便事業について、なぜ地区に移行するのか。実施できない地区もあるのではないか。

現行制度による見守りよりも顔見知りの心許せる人が訪問することによって、会話も生まれ安否確認のほかにも高齢者にとって良い面があること、また、今まで宅配業者に支払っていた委託料を地区に支払うことで、地区の活性化にもつながることから、地区協議会の承諾を得ることができた場合には地区へ移行しようとするものです。実施できない地区については、今までどおりということになるか



日本共産党
工藤 禎子 議員
(二問一答方式)

不登校といじめ問題について、子供の成長を考えると

広域連合・一部事務組合の議会報告

当市が構成員となっている黒石地区清掃施設組合、津軽広域連合、弘前地区消防事務組合は、それぞれ定例会を開催し、新年度予算等について審議しました。

当市選出議員も出席した定例会の概要は、次のとおりでした。

◆黒石地区清掃施設組合議会

開催日：2月17日(金)
開催場所：黒石地区清掃施設組合
当市選出議員：高橋美紀子議員、今大介議員
提出議案：平成29年度黒石地区清掃施設組合一般会計予算など議案5件
いずれも原案のとおり可決されました。

◆津軽広域連合議会

開催日：2月22日(水)
開催場所：弘前地区消防事務組合消防本部
当市選出議員：村上隆昭議員、後藤秀憲議員
提出議案：平成29年度津軽広域連合一般会計予算など議案4件
いずれも原案のとおり可決されました。

◆弘前地区消防事務組合議会

開催日：2月22日(水)
開催場所：弘前地区消防事務組合消防本部
当市選出議員：福士幸雄議員、工藤和行議員
提出議案：平成29年度弘前地区消防事務組合一般会計予算など議案3件
いずれも原案のとおり可決されました。

●議員活動報告

高佑会

(高橋美紀子)

視察先

北海道亀田郡七飯町
(平成28年11月22日)

【大沼流山牧場 Paard Musée(パド・ミュゼ)について】

北海道大沼のパド・ミュゼという体験型牧場を視察しました。オランダ語のPaard(在来馬)とフランス語のMusée(美術館、博物館)が名前の由来となったパド・ミュゼは、馬と人が一緒に暮らし働いている1000㌫もの広大な敷地の一部で、さまざまな牧場の暮らしが体験できるようになっていました。



また、託児所や研修宿泊などの施設が充実しているほか、四季折々の体験学習やイベントがあり、老若男女を問わず学び、遊ぶことができます。特に、木のおもちゃを作って遊んだり、木で作った食器で食事するなどの木育体験が魅力で、多くの観光客が訪れていました。

当市にも豊かな自然があり、中でも木の種類を選び形づくる「こけし」が木育につながると思われることから、こけしを絡めた参加型観光プログラムをつくることで観光振興につながると思いました。

●議員活動報告

黒石市民クラブ

(福士 幸雄)
(工藤 和子)
(佐々木 隆)
(後藤 秀憲)

視察先

京都府南丹市
(平成28年12月19~21日)

【「自然と古民家を活用した観光事業」について】

南丹市は、平成18年に4町が合併し京都府で2番目の面積となりましたが、人口がわずかに3万3,000人です。その中で南丹市北部に位置する美山町は人口約4,500人という小さな町ですが、平成26年には年間観光客数が70万人を越えるほどの観光地となっています。町内には、かやぶきの里という国の重要伝統的建造物群保存地区があり、かやぶきの古民家を活用した美術館や史料館、喫茶店などの他、民泊できる施設もありました。季節の自然・歴史・文化を活用した施設を整備することで、今では海外からの宿泊者も増えています。

当市でも山形地区をはじめとしてグリーンツーリズムなどの取り組みが行われていますが、宿泊施設の少ない当市にとって、民家などのもとからあるものを利用して宿泊環境を整えることが今後の優先課題だと考えます。



●行政視察動報告

自民・公明クラブ

(村上 隆昭・中田 博文)
(工藤 俊広・大溝 雅昭)
(大久保朝泰・今 大介)
(村上 啓二・北山 一衛)

視察先

埼玉県飯能市
(平成29年1月24・25日)

【「タブレット端末の導入」について】

飯能市では紙使用量削減による経費節約を図るため、全議員及び執行部幹部職員がタブレット端末を使用していました。これまで、年4回の定例会や全員協議会で使う冊子、資料に莫大なコピー用紙を使用していましたが、タブレット端末に転換することで、年間紙使用量削減枚数約10万枚、年間費用削減効果額約210万円の導入効果を得ているとのことでした。また、徐々に利用範囲を広げ、代表者会議や本会議一般質問



での活用、議会運営委員会等での資料削減、さらには、事務連絡などにもメールを活用し、電話・ファックス料金の節約も行って行っていました。

タブレット端末を導入する場合、費用はかかるものの、厳しい財政状況が続く中で長期的に見て経費節約につながるのであれば、当市でも導入を考える必要があると思います。

●議員活動報告

自民・公明クラブ

(村上 隆昭・中田 博文)
(工藤 俊広・大久保朝泰)
(今 大介・村上 啓二)

新政会

(三上 廣大)

視察先

愛知県名古屋市
愛知県稲沢市
(平成29年2月8・9日)

【「中学校スクールランチ(名古屋市)」「観光行政(稲沢市)」について】

名古屋市では、平成8年から市内中学校でスクールランチという特色ある学校給食を提供しています。スクールランチとは、ランチルーム用・教室用それぞれ2種類の給食メニューから選択することができる方式の給食です。また、ランチか家庭からの弁当持参かを選択することもできます。ランチの予約は実施日の3日前に行います。このスクールランチのねらいは生徒による自主的な食生活の管理やランチルームを活用した会食による豊かな心の育成、好ましい人間関係の構築です。

当市では、中学校の給食実施は未定となっているため、今回学んだことを生かして生徒達にとってより良い昼食方法を提供できるように行政に提言していきたいと思ひます。

そのほか、稲沢市では、祭りに関する観光行政について視察しました。



第10回議会報告会 市民の皆さんと意見を交換

12月16日の午後6時からスポカルイン黒石2階大会議室で、10回目となる「議会報告会」が開催されました。

この報告会は、議会改革の一環として、市民の皆さんへの議会の活動状況の報告と同時に、市民の皆さんからの議会に対するご意見を聞かせていただきたいと考え、定期的に開催しています。

当日は14人の市議会議員の出席と、悪天候にも関わらず29人の市民の皆さんに参加していただきました。

報告会では始めに、北山議



第10回という節目を迎えた報告会

長が「当市議会では、この議会報告会を通して皆様からいただきましたご意見を日ごろの議会活動、議会改革に活かしてまいります。10回目の節目となる今回の議会報告会におきまして、ぜひとも皆様からご意見をいただきたいと思

います」と挨拶。続いて出席議員を紹介した後、平成28年9月・12月の議会内容を北山議長が報告し、

28年度決算報告を決算特別委員会委員長の大溝議員と副委員長の高橋美紀子氏が報告しました。その後、議員と参加者の意見交換が行われ、市民の皆さんからは、「議員報酬と政務活動費の違いは何なのか」、「政務活動費は月1万円では足りないのではないか」、「議員報酬で政務活動費を賄うことはできないのか」といった意見がだされました。

昨年全国的に話題となった政務活動費に関する質問には、以前交付されていた政務調査費の廃止から政務活動費とし

るの復活までの経緯や、交付する目的、使途基準について議員側から説明しました。



説明をする北山議長

また、政務活動費の質問の他、28年に実施された各会派の行政視察について、詳しい視察内容や学んだことを今後の地方創生や黒石の活性化にどのように活かしていくのかなど、多くの質問があり、有意義な意見交換を行うことができました。

昨年7月に実施された参議院議員選挙から選挙権年齢が18歳へ引き下げとなったことも踏まえ、当市議会では今後とも議会報告会を通じて、新たに選挙権を有した若い皆さんも含めた幅広い世代の方に政治への関心を持ってもらえよう努めていきます。

西十和田トンネル

建設促進市町村議長同盟会(仮称)設立へ

北山議長は、西十和田トンネル(仮称)の早期建設を強く推進するとともに、トンネルの建設実現に向けた今後の取り組みを強化するためには、関係市町村の議会との連携強化が必要と考え、市町村議長で構成する西十和田トンネル建設促進市町村議長同盟会(仮称)を設立するための準備を進めています。

トンネル建設にかかわる本県と秋田県の11市町村議会を訪問し、トンネル建設に向けた同盟会の必要性を訴え加盟を要請した結果、1月末現在で9市町村議会から同盟会参加の同意を得ました。

今後は、平成29年7月をめどに同盟会を設立し、青森・秋田両県知事への陳情活動などを行っていく予定です。

編集後記

市議会だより第9号から今回の第16号まで議会だより編集特別委員会の一委員として多くの市民の皆様は議会、議員の活動をわかりやすく、読みやすく、楽しくお伝えできるよう心がけて編集を行いました。委員間の活発な議論とアイデアにより、読む方に興味をもってもらえるようにと掲載記事、写真、デザインにも工夫を凝らし、発行回数を増すごとに充実した内容となってきたと思います。

今後とも工藤俊広委員長をはじめとした委員の皆様と共により良い議会だよりの制作に努めてまいります。

三上 廣大

議会だより 編集特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 工藤 俊広 |
| 副委員長 | 大久保 朝泰 |
| 委員 | 工藤 和子 |
| 委員 | 高橋 美紀子 |
| 委員 | 今 大介 |
| 委員 | 三上 廣大 |

お問い合わせ先

黒石市議会事務局

〒036-10396
黒石市大字市ノ町11番地1号
電話 0172-5212129
FAX 0172-5317410